

日本共産党を代表しまして、議案第 25 号野田市斎場の指定管理者の指定について反対する立場で討論いたします。

議案の内容は、野田市斎場の指定管理者にシナネンアクシア株式会社を指定しようとするものであります。シナネンアクシア株式会社は既に野田市斎場の指定管理者でしたので、指定されれば継続ということになります。

私は、指定管理者制度について、従来から懸念を示しているように、行政が責任を持つ固有の仕事、特に福祉、教育、環境などの仕事、そして公の施設を、営利企業の利潤を生み出すもうけ仕事の対象にすべきではないと考えております。

市の斎場は、法に基づき火葬及び葬儀を行うための施設として、市民の貴重な租税により整備された市民の財産であります。

人生最後の厳粛な場所にまで、指定管理者制度を導入する必要性はないと思います。

行政が、人生最後をきちんと送れるようにするためにも、責任を持って管理・運営すべきです。

営利企業は利潤を上げるのを目的として会社がつくられています。最初から、株式会社の指定管理はこのような本質的な問題を抱えていると考えます。さらには、営利企業が管理すると議会や市民の監視も大きく低下し、管理運営のチェックができなくなります。

以上の理由により、野田市斎場の指定管理を指定する議案 25 号に反対いたします。